



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 トッパン・フォームズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7862 URL <http://www.toppan-f.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻井 醜  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 福島 啓太郎 (TEL) 03(6253)5720  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	190,503	5.0	8,635	8.9	9,427	4.6	5,363	9.1
25年3月期第3四半期	181,408	8.6	9,475	16.3	9,886	18.6	5,899	40.4

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 6,357百万円(7.1%) 25年3月期第3四半期 6,846百万円(74.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	48.32	-
25年3月期第3四半期	53.15	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	202,540	153,869	75.6
25年3月期	200,512	150,264	74.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 153,220百万円 25年3月期 149,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	12.50	-	12.50	25.00
26年3月期	-	12.50	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	246,000	0.9	12,000	1.0	12,400	0.9	7,200	1.3	64.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	115,000,000株	25年3月期	115,000,000株
26年3月期3Q	4,003,441株	25年3月期	4,003,441株
26年3月期3Q	110,996,559株	25年3月期3Q	110,996,617株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

### 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策効果が発現する中で、企業収益が改善し個人消費が増加するなど、景気は緩やかに回復してきているものの、海外景気の下振れや円安による物価上昇などの懸念もあり、不透明な状況で推移しました。

ビジネスフォーム業界におきましては、一部の市場で需要の回復は見られましたが、引き続き企業の経費削減の徹底や競争激化による価格低下、IT化・ネットワーク化の進展により、厳しい経営環境となりました。

このような状況のなか、当社グループは価値創造型企業への変革を基本方針として掲げ、成長戦略の推進と経営基盤の強化に取り組みました。

成長戦略の推進につきましては、子会社化した株式会社ジェイ エスキューブとの連携により、データ・プリント・サービス(DPS)の前後にある事務処理作業を含めたビジネスプロセスアウトソーシング(BPO)の市場開拓を強化いたしました。また、増加するウェブ化・IT化ニーズに対応して、情報通信技術を基盤とした新事業・新サービスの開発を推進するとともに、ウェブ販売チャネルの強化と新商品の開発・拡販による商品事業の再構築に取り組みました。海外市場におきましては、資本業務提携した浙江榮華印刷有限公司との連携により中国市場開拓の強化を図るとともに、香港市場の深耕、シンガポール・タイを中心としたASEAN市場の開拓に努めました。

経営基盤の強化につきましては、拠点の集約などにより製造コスト削減を推進するとともに、物流コストの管理徹底、海外調達(用紙)の実施など、収益力の強化に取り組みました。また、より高度な情報セキュリティ体制の実現、事業継続性の対応力の強化を目的として、凸版印刷と共同でグループデータセンターを構築するなど、IT基盤の強化に取り組みました。

以上の結果、前年同四半期と比べ売上高は5.0%増の1,905億円、営業利益は8.9%減の86億円、経常利益は4.6%減の94億円、四半期純利益は9.1%減の53億円となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

印刷事業	売上高	1,506億円(対前年同四半期 2.7%増)
	セグメント利益(営業利益)	101億円(対前年同四半期 10.9%減)

ビジネスフォームでは、経費削減の徹底や競争の激化による価格低下や電子化に伴う需要量の減少はあったものの、利用者にとっての分かりやすさ、伝わりやすさを追求するユニバーサルデザインや、帳票を中心とする印刷物の調達業務を一括受託する企画・提案の推進、企業のシステム変更に伴う帳票改訂や帳票・文書の電子化需要の取り込みなどにより、前年から微増収となりました。

DPSは、通知物の電子化に伴う需要の減少や仕様の簡素化、競争激化による単価ダウンはあったものの、顧客の囲い込みに向けた販売促進用ダイレクトメール(DM)などの拡販や、プリント業務一括アウトソーシング需要の取り込み、さらには株式会社ジェイ エスキューブの子会社化を含めたBPO受託の増加などにより、前年から増収となりました。

以上の結果、印刷事業では前年に比べて売上高は増加しましたが、セグメント利益は減少しました。

商品事業	売上高	399億円(対前年同四半期 14.6%増)
	セグメント損失(営業損失)( )	4億円(対前年同四半期 )

サプライ品は、当社が保有するウェブ購買システムを活用した一括受注提案を推進するとともに、販売促進用ノベルティーや、運輸業界をターゲットに海外市場も含めて高性能保冷材の拡販を図りましたが、オフィス用品の販売価格の下落や、トナー販売の減少などにより、前年から減収となりました。

事務機器関連では、企業におけるメーリング業務のアウトソーシング化による需要減はあるものの、通販市場の拡大に伴い運輸業界で増加する事務機器需要の取り込みや、小売業や医療機関などへのカード発行システムの拡販、株式会社ジェイ エスキューブのスキャナー・入力機器類の販売などが加わったことにより、前年から増収となりました。

以上の結果、商品事業では前年に比べて売上高は増加し、セグメント損失は縮小しました。

区分	前年同四半期 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)		当第3四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		増減		前連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	伸率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
印刷事業	146,586	80.8	150,600	79.1	4,013	2.7	196,883	80.8
(内DPS)	(73,645)	(40.6)	(77,539)	(40.7)	(3,893)	(5.3)	(98,164)	(40.3)
商品事業	34,822	19.2	39,903	20.9	5,081	14.6	46,915	19.2
計	181,408	100.0	190,503	100.0	9,095	5.0	243,798	100.0

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ資産合計は20億円増の2,025億円、負債合計は15億円減の486億円、純資産合計は36億円増の1,538億円となりました。この結果、自己資本比率は75.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年4月26日に公表いたしました平成26年3月期通期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

1【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	39,819	27,997
受取手形及び売掛金	42,347	53,337
有価証券	3,638	1,206
商品及び製品	8,058	8,763
仕掛品	974	1,280
原材料及び貯蔵品	2,135	2,586
繰延税金資産	2,322	1,531
その他	3,375	4,196
貸倒引当金	239	324
流動資産合計	102,431	100,575
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	58,648	62,336
減価償却累計額及び減損損失累計額	27,185	27,399
建物及び構築物(純額)	31,462	34,936
機械装置及び運搬具	71,939	73,876
減価償却累計額及び減損損失累計額	61,362	63,187
機械装置及び運搬具(純額)	10,577	10,689
工具、器具及び備品	11,559	12,541
減価償却累計額及び減損損失累計額	8,942	9,846
工具、器具及び備品(純額)	2,616	2,695
土地	22,630	22,493
リース資産	316	369
減価償却累計額	292	347
リース資産(純額)	24	21
建設仮勘定	3,906	1,516
有形固定資産合計	71,217	72,352
無形固定資産		
のれん	-	429
その他	3,958	4,767
無形固定資産合計	3,958	5,197
投資その他の資産		
投資有価証券	17,125	18,417
繰延税金資産	1,242	1,174
その他	4,960	5,190
貸倒引当金	423	367
投資その他の資産合計	22,904	24,414
固定資産合計	98,080	101,964
資産合計	200,512	202,540

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,743	29,251
短期借入金	283	359
未払法人税等	2,005	316
賞与引当金	4,365	2,243
役員賞与引当金	57	39
資産除去債務	208	187
設備関係支払手形	4,786	2,796
その他	9,581	9,711
流動負債合計	47,031	44,906
固定負債		
繰延税金負債	114	354
退職給付引当金	2,505	2,635
役員退職慰労引当金	156	234
資産除去債務	411	374
その他	29	165
固定負債合計	3,217	3,764
負債合計	50,248	48,670
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,750	11,750
資本剰余金	9,270	9,270
利益剰余金	131,932	134,520
自己株式	4,916	4,916
株主資本合計	148,035	150,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,970	2,442
為替換算調整勘定	374	153
その他の包括利益累計額合計	1,596	2,595
新株予約権	13	-
少数株主持分	619	649
純資産合計	150,264	153,869
負債純資産合計	200,512	202,540



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	181,408	190,503
売上原価	143,404	151,655
売上総利益	38,004	38,848
販売費及び一般管理費	28,528	30,213
営業利益	9,475	8,635
営業外収益		
受取利息	113	113
受取配当金	165	183
持分法による投資利益	49	47
為替差益	0	8
補助金収入	34	316
その他	292	256
営業外収益合計	657	926
営業外費用		
支払利息	4	4
保険解約損	118	51
賃貸費用	37	51
その他	86	27
営業外費用合計	246	134
経常利益	9,886	9,427
特別利益		
固定資産売却益	0	3
持分変動利益	-	108
その他	158	18
特別利益合計	158	130
特別損失		
固定資産売却損	40	33
固定資産除却損	247	466
事業所移転費用	-	248
その他	172	140
特別損失合計	460	889
税金等調整前四半期純利益	9,584	8,668
法人税、住民税及び事業税	2,599	2,257
法人税等調整額	1,046	1,054
法人税等合計	3,646	3,311
少数株主損益調整前四半期純利益	5,938	5,356
少数株主利益又は少数株主損失( )	39	6
四半期純利益	5,899	5,363

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,938	5,356
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	865	472
為替換算調整勘定	52	524
持分法適用会社に対する持分相当額	10	3
その他の包括利益合計	907	1,000
四半期包括利益	6,846	6,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,805	6,363
少数株主に係る四半期包括利益	40	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	印刷事業	商品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	146,586	34,822	181,408		181,408
セグメント間の内部売上高 又は振替高	606	622	1,228	1,228	
計	147,192	35,444	182,637	1,228	181,408
セグメント利益又は損失( )	11,350	446	10,903	1,427	9,475

(注)1. セグメント利益又は損失( )の調整額 1,427百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用

1,427百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	印刷事業	商品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	150,600	39,903	190,503		190,503
セグメント間の内部売上高 又は振替高	537	939	1,477	1,477	
計	151,137	40,843	191,981	1,477	190,503
セグメント利益又は損失( )	10,116	400	9,715	1,080	8,635

(注)1. セグメント利益又は損失( )の調整額 1,080百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用

1,080百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。